

2026
10/30
金

一般財団法人省エネルギーセンター

東海支部

オンライン講座

CNを加速させる！ 「省エネ推進に活かせるデータ」 とその可視化事例解説

LIVE配信

省エネ法でいう「工場等判断基準」では、エネルギー管理のための計測及び記録が、事実上の義務として求められています。省エネ実現には、「改善あるいはそのための活動のネタが抽出できるデータはなにか」も含み置いて、その分析等を通じ、今取り組んでいる改善活動を適切に評価するなど、計測の価値を少しでも高める意識が必要です。

本講座では「使える計測（及び記録）で現場を見える化」をキーワードに、運用改善・投資改善の如何に関わらず、エネルギーの使用を最適化（その先には「カーボンニュートラル」）するよう促していくという観点と、目下および将来を見据え、各企業様が抱える人手不足や労務管理（特に熱中症対策）などへの課題への対応も含めて、「次の時代」を見据えたエネルギーマネジメントを進めるための「見える化」等に活用可能な事例解説を致します。

カリキュラム

講師：（一財）省エネルギーセンター 省エネ技術本部 マネージャー 鈴木 伸隆

13:10～13:45

1. 省エネ推進を加速させる「見える化」「データ分析」そして「デジタル」への期待

- ・データでみる「省エネの深掘り余地」の代表例
- ・EMSの3本柱「見える化」「制御」「高度化」
- ・エネルギーマネジメントのためのデータ/AIの活用と法的留意事項
- ・デマンド監視の“これから”のために：「確実に自社で計測したいデータ」とは？ ほか

13:45～

2. 現場で使える！Microsoft EXCEL®でできる！省エネデータ分析の「いま」

- ・原単位管理とCO₂排出抑制とを両立させる目標設定のあり方を再検討
- ・「固定消費エネルギー」「待機時消費電力」は確実に可視化!?その重要度は!?
- （途中休憩1回）
- ・自工場のエア漏れ単価：xlsを用いた試算方法と「見える化」
- ・非化石エネルギーの管理（太陽エネルギー活用を軸に）…管理標準に落とし込もう！ ほか

～16:15

3. 公知のデータ&事例で考える「“これから”のエネルギーの増加&ロスリスク」

- ・「熱中症」「猛暑日」「換気」そして「冷媒」を考慮した空調（主として冷熱）の省エネ
- ・データで熟考：「蓄エネ（蓄電池など）」は省エネに貢献？エネルギーロス？
- ・統計学では予想できない「想定外」を”できるだけ想定する”エネルギー管理 ほか

16:20～16:40

4. まとめと全体質疑応答

受講要領

- 日 時：2026年10月30日（金） 13:10～16:40
- 受講条件：インターネット環境の整ったパソコンやタブレット等をご用意ください。
- 申込方法：右の二次元コードで表示された申込みフォーム（Googleフォーム）よりお申込みください。
- 受講料：賛助会員：22,000円 一般：26,400円（税込）
賛助会員 ⇒ <https://www.eccj.or.jp/member/index.php>
※診断プロ倶楽部会員、CEMSAR登録審査員、省エネ・脱炭素エキスパート、エネルギー使用合理化専門員は賛助会員料金でご受講いただけます。
- 支払方法：請求書をメールにてお送りします。原則、開催日前日までに受講料をお振込みください。（振込手数料はご負担願います）
- 注意事項：10月27日資料送付、10月28日Zoom招待メール送付
キャンセルは10/23までです。
それ以降のキャンセルについては、理由の如何を問わず受講料をご請求させていただきますので代理の方の参加をご検討いただき、お知らせください。

お申し込みはこちら
の二次元バーコード
をスマホ等で読み込
むか、クリック（タップ）
してください



申し込み
しめきり日
10/27（火）

問い合わせ先

一般財団法人省エネルギーセンター 東海支部（相模・高井）

TEL: 052-232-2216

E-mail: tkiseminar@eccj.or.jp

〒460-0002
名古屋市中区丸の内
3-23-28 イトービル